2027年度

北海道大学大学院文学院
修 士 課 程

学 生 募 集 要 項

2026年5月

＜オンライン進学説明会のお知らせ＞

開催日：
　２０２６年６月１９日（金）
　２０２６年１１月１３日（金）
申込：
　説明会は、全体説明会と個別相談会の２部構成となっています。第１部の全体説明会は事前申し込み不要ですが、第２部の個別相談会に参加を希望される方は、事前申込が必要です。（６月１７日午後５時、１１月１１日午後５時まで受付）。第１部のみの参加も可能です。

　詳細は以下 URL をご確認願います。
　https://www.let.hokudai.ac.jp/general/gshhs-portal

2027年度北海道大学大学院文学院
修士課程学生募集要項

北海道大学大学院文学院には、人文学、人間科学の2専攻があり、それぞれ下記の講座及び研究室から構成されている。募集は、専攻を単位として、志望する研究室ごとに試験が実施される。

専　　攻	講　　座	研 究 室
人文学専攻	哲学宗教学	哲学倫理学
		宗教学インド哲学
	歴史学	日本史学
		東洋史学
		西洋史学
		考古学
	文化多様性論	文化人類学
		芸術学
		博物館学
	表現文化論	欧米文学
		日本古典文化論
		中国文化論
		映像・現代文化論
	言語科学	言語科学
	スラブ・ユーラシア学	スラブ・ユーラシア学
	アイヌ・先住民学	アイヌ・先住民学
人間科学専攻	心理学	心理学
	行動科学	行動科学
	社会学	社会学
	地域科学	地域科学

なお、本学院の修士課程は、大学院設置基準にいう博士前期2年の課程に相当する。

目　次

教育研究上の目的及びアドミッションポリシー ---------- 1

Ⅰ. 出願 ---------- 4

Ⅱ. 入学試験 ---------- 7

・各研究室における専門分野
・出願上の注意
・過去の試験問題
・受験票の発送
・入学手続
・外国籍の出願者への留意事項
・長期履修制度について
・教育方法の特例（大学院設置基準第 14 条による特例）について
・個人情報の取り扱いについて
・入学試験に関する問い合わせ先
・入学試験成績等の開示について
・その他

別記 1～2 ---------- 14

・出願資格審査
・出願書類【研究室別の所定課題等】

教育研究上の目的及びアドミッションポリシー

1. 本学院の教育研究上の目的

本学院は、人文科学の諸領域において高度の専門的な教育研究を行うことにより、「ことば」に対する感受性及び論理的な思考力、総合的な判断力等を有する人材の育成を図るとともに、国際的に卓越した創造的な研究者を養成し、及びその資質の向上を図ることを目的とする。

(1)人文学専攻

人文学専攻は、哲学宗教学、歴史学、文化多様性論、スラブ・ユーラシア学、アイヌ・先住民学、表現文化論、言語科学の7講座からなる。哲学宗教学講座には哲学倫理学、宗教学インド哲学の各研究室が、歴史学講座には日本史学、東洋史学、西洋史学、考古学の各研究室が、文化多様性論講座には文化人類学、芸術学、博物館学の各研究室が、表現文化論講座には欧米文学、日本古典文化論、中国文化論、映像・現代文化論の各研究室がそれぞれ含まれ、多岐にわたる学問領域を対象としている。

哲学宗教学講座は、経済と政治のグローバル化が進展する中で、価値観の対立と衝突も生まれている現代社会において、人間の在り方について根源的な問を発しつつ、その問に果敢に答えようとする深い学識を培う分野である。歴史学講座、文化多様性論講座、スラブ・ユーラシア学講座、アイヌ・先住民学講座は、他者と共感する真摯な姿勢と本質を見抜き相対化する批判精神を必要とする、広義の異文化を対象とする分野であり、古典を含む文献読解の方法、ヨーロッパ、アジア及び北方地域を含む多様な言語の修得、現地調査を含むデータ収集とその処理・分析方法、物質・精神にまたがる異文化へのアプローチ、地域や民族がかかえる現代的課題への視野、等について学際的・総合的な教育研究を行う。表現文化論講座は、多様な言語で記された文学・思想を対象とし、日本文学、英米・英語圏文学、フランス文学、ロシア・スラブ文学、西洋古典学、中国文学、中国語学、中国思想、さらには映像論、批評理論、文化批評を対象とする視覚メディア文化や言語表現文化の教育研究が含まれる。言語科学講座は、言語理論を扱う言語学と、国語学・日本語学、英語学、フランス語学・ロマンス語学、ロシア語学・スラブ語学など個別の言語を対象とする分野からなる。

本専攻においては、文献資料や先行研究から得られる知識はもとより、ときにはみずからフィールドへと出向いて異文化を体感する行動力も求められる。そのような自己と他者との対話を通して、文化の多様性と共通性を学び、過去と現在、中心と周縁を有機的に結びつけて世界の総体を捉え直すことのできる、バランスのとれた人材の育成を目指している。

本専攻の目的は、上記の多様な領域における個別的教育研究、並びに諸分野を複合的総合的に横断する領域の教育研究を通して専門的学識と幅広い教養を合わせ持つ学生を育成し、中等・高等教育機関、博物館・資料館、国際交流機関やIT、マスメディア等、官公庁や企業のさまざまな分野で活躍できる人材を社会に送り出すとともに、創造性豊かな優秀な研究者の育成を目指している。また海外の研究者を招いて講演会、研究会等を積極的に行い、学生に海外の研究者と接する機会を提供するとともに、学生の海外派遣を含む研究教育の国際化に取り組み、国際的な視点をも身につけた人材の育成を目指している。

(2)人間科学専攻

人間科学専攻は、心理学、行動科学、社会学、地域科学の4講座からなる。

本専攻は心理学講座(認知心理学、認知科学、実験心理学)、行動科学講座(社会心理学、社会環境と行動、文化と心理など行動科学全般)、社会学講座(社会学理論、社会構造と社会変動、社会集団)、地域科学講座(地域社会学、人文地理学、社会生態学)からなり、実験、コンピュータ・シミュレーション、社会調査、聞き取り調査、フィールドワークなど多様な方法論を用い、人間と社会の理解に向けた科学的・実証的なアプローチを行っている。

本専攻の目的は、まず、学生がそれぞれのディシプリンを修得した上で、専攻に共通の授業を通して微視的及び巨視的な観点を獲得すること、また国際学術誌への投稿、国際学会での発表、国内外の研究交流等を通して、大学や様々な研究機関において国際的水準に立って研究できる研究者を育成することである。さらに本専攻は、官公庁、企業等に就職し、教育、医療、IT、マスメディア等の幅広い領域で活躍できる高度専門家の養成を目指している。

2. アドミッションポリシー

学院の理念

北海道大学大学院文学院は、グローバル化・情報化が進展する中で、従来の価値観が変化しつつある現代にあって、そこに生きる人間と人間が創り出す社会や文化の本質を学ぶことができる大学院教育を提供し、人文社会科学諸分野における専門的知識と研究方法を身に付け、社会の様々な領域において活躍できる人材を育成する。

教育目標

全国屈指の多様な研究分野と豊富な教員スタッフを擁する本学院は、学部での学修の成果をさらに向上・発展させ、徹底した少人数教育を通じて、個別の研究分野を深く追究し、現代社会のさまざまな問題に専門的な視点をもって取り組むことのできる人材を育成することを目標とする。

人文学専攻

専攻の理念

北海道大学大学院文学院人文学専攻は、思想、文化、歴史、言語、文学、地域研究等を教育研究の対象とし、これらの個別領域、さらにそれらを横断する領域に関して、深い専門知識並びに高い問題解決能力を身につけ、その成果を社会における様々な分野で生かすことのできる学生を求める。

〈修士課程〉

求める学生像

北海道大学大学院文学院人文学専攻修士課程は、以下に示す目標を達成する意志をもつ学生を求める。

・人文学に属する様々な研究領域における考え方や方法論を広く学びながら、専門分野に関する文献を正確に解読できる言語運用能力と、それをもとに問題を発見し分析する能力を身につける。
・専門分野の研究に必要な調査を行い、そこから得られるデータを的確に処理し、分析できる能力を身につける。
・国際的に通用するコミュニケーション能力をもち、専門知識・技術や考察力等を生かして社会で活躍できる。

そのために、入学希望者には、専門分野に関する基礎学力及び語学力並びに研究遂行に必要なコミュニケーション能力を養っておくことが期待される。

入学者選抜の基本方針

専攻の理念並びに課程の求める学生像に相応しい資質を有しているかを判断するため、専門試験及び口述試験その他の結果並びに出願書類の内容によって、選抜を行う。このうち、専門試験には、各専門分野における研究遂行に必要な基礎知識や表現力等の評価が含まれ、研究遂行に必要な語学力等の評価を含めることがある。口述試験その他では、研究遂行に必要な論理的な思考力やコミュニケーション能力等を評価するが、研究遂行に必要な語学力等の評価も含むことがある。

人間科学専攻

専攻の理念

北海道大学大学院文学院人間科学専攻は、個体としての人間やそれによって構成される集団、社会、地域を教育研究の対象とし、これらの諸要素間の相互関係を総合的に解明するため深い専門知識並びに高い問題解決能力を身につけ、その成果を社会における様々な分野で生かすことのできる学生を求める。

〈修士課程〉

求める学生像

北海道大学大学院文学院人間科学専攻修士課程は、以下に示す目標を達成する意志を持つ学生を求める。

・人間科学の基礎分野のみでなく、応用分野まで学んだ上で、人間個人や集団に関する人文・社会科学的な知識と研究能力を身につける。
・専門分野の研究に必要な実験・調査を行い、そこから得られるデータを的確に処理し、分析できる能力を身につける。
・国際的に通用するコミュニケーション能力をもち、専門知識・技術や考察力等を生かして社会で活躍できる。

そのために、入学希望者には、専門分野に関する基礎学力及び語学力並びに研究遂行に必要なコミュニケーション能力を養っておくことが期待される。

入学者選抜の基本方針

専攻の理念並びに課程の求める学生像に相応しい資質を有しているかを判断するため、専門試験及び口述試験その他の結果並びに出願書類の内容によって、選抜を行う。このうち、専門試験には、各専門分野における研究遂行に必要な基礎知識や表現力等の評価が含まれ、研究遂行に必要な語学力等の評価を含めることがある。口述試験その他では、研究遂行に必要な論理的な思考力やコミュニケーション能力等を評価するが、研究遂行に必要な語学力等の評価も含むことがある。

本学院は、修士課程の学生募集を下記の要領に従い、前期（9月）と後期（1月末～2月）とに分けて2度行う。
入学志願者は、前期と後期のいずれか、又は両方を受験することができる。

Ⅰ．出　願

1．専攻及び募集人員

人文学専攻	（前・後期）	71名	合計　90名
人間科学専攻	（前・後期）	19名	

2．出願資格

（1）大学を卒業した者又は2027年3月までに卒業見込みの者
（2）独立行政法人 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者又は2027年3月までに授与される見込みの者
（3）外国において、学校教育における16年の課程を修了した者又は2027年3月までに修了見込みの者
（4）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者又は2027年3月までに修了見込みの者
（5）我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は2027年3月までに修了見込みの者
（6）外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者又は2027年3月までに修了見込みの者
（7）専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者又は2027年3月までに修了見込みの者
（8）文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）。
※旧大学令による大学、各省庁組織令・設置法による大学校等を卒業した者又は卒業見込みの者など
（9）下記に掲げる者のうち、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本学院において認めた者
※出願は後期試験のみとする（別記1、14頁参照）。
①2027年3月までに、大学における在学期間が3年以上となる者
②外国において学校教育における15年の課程を修了した者又は2027年3月までに修了見込みの者
③外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、その外国の学校教育における15年の課程を修了した者又は2027年3月までに修了見込みの者
（10）本学院において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成17年4月1日以前に出生した者（別記1、14頁参照）
※短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者や外国大学日本分校等修了者など大学卒業資格を有していない者が対象

3．出願資格審査

「2.出願資格」の（9）、（10）により出願する者は、別記1（14頁）により必要書類を提出すること。
「大学教育修了までの学校教育の課程が15年である国において大学教育を修了した者」は、出願資格審査が必要となる可能性があるので、事前に本学院に申し出て指示を受けること。提出期限（14頁参照）に間に合うよう余裕を持って申し出ること。

4. 出願書類

出願書類等	備　　考
□入学願書 □受験票・写真票	インターネット出願サイトにて、必要事項の入力後に作成される入学願書及び受験票・写真票をA4判用紙に印刷し、写真を貼付すること。 〈写真（計3枚）〉入学願書用1枚：縦4.5cm×横3.5cm、受験票用・写真票用各1枚：縦4.0cm×横3.0cm　**※顔写真に加工・修正を施さないこと。本人と確認できない場合は受験を認めない。**
□成績証明書（コピー不可）	出身大学（学部）等長の発行するもの。大学に編入学をしている場合は、編入学前の大学の成績証明書も提出すること。本学文学部既卒者は提出不要（卒業見込みの者は添付すること）。 【重要】中華人民共和国（香港・マカオ特別行政区を除く）の大学を卒業、又は卒業見込みの者は、CHSI（中国高等教育学生信息網）が発行する英語による成績証明書を、CHSI から本学院（iau@let.hokudai.ac.jp）あてに直接メールで送信する形で提出すること（大学が発行する証明書は提出不要）。 CHSI アドレス：https://www.chsi.com.cn/xlcx/bgys.jsp ※提出時点で Web 認証の有効期限が 15 日以上残っていることを確認すること。 書類の遅延はいかなる理由によっても認めない。証明書の発行には時間がかかり、システムの休止等も起こり得るため、予め十分な時間の余裕をもって準備すること。
□卒業（見込）証明書又は 学位授与証明書 （いずれもコピー不可）	出身大学（学部）等長の発行する卒業（見込）証明書又は独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が発行する学士の学位授与証明書（授与見込みの場合は、短期大学長又は高等専門学校長が発行する学位授与申請（予定）証明書）。外国の大学を卒業した場合は、卒業証明書に取得学位が記載されているもの。本学文学部出身者は提出不要。 【重要】中華人民共和国（香港・マカオ特別行政区を除く）の大学を卒業、又は卒業見込みの者は、CHSI（中国高等教育学生信息網）が発行する英語による以下証明書等を、CHSIから本学院（iau@let.hokudai.ac.jp）あてに直接メールで送信する形で提出すること。 CHSIアドレス：https://www.chsi.com.cn/xlcx/bgys.jsp ※提出時点で Web 認証の有効期限が 15 日以上残っていることを確認すること。 書類の遅延はいかなる理由によっても認めない。証明書の発行には時間がかかり、システムの休止等も起こり得るため、予め十分な時間の余裕をもって準備すること。 既　卒　者…中国高等教育学位在线验证报告 翻译件（英文）（Online Verification Report of Higher Education Degree Certificate） 卒業見込者…教育部学籍在线验证报告 翻译件（英文）（Online Verification Report of Student Record）
□研究計画書	A4判（任意の様式、クリップ止め）を使用し、以下を合わせて3,000～4,000字で述べたもの。 ①氏名を明記 ②本学院を志望する理由 ③入学後の研究計画及び修士修了後の抱負
□卒業論文等（コピー）	卒業論文又はそれに代わる研究論文がある場合は、そのコピーをクリップ止めして提出すること。 ①卒業論文（コピー）等には、必ず氏名を記入すること。 ②大学院において修士論文を作成した者は、卒業論文(コピー)に代えて修士論文(コピー)を提出することができる。 ③卒業論文又はそれに代わる研究論文が日本語又は英語以外の言語で執筆されている場合、日本語又は英語で作成した要約を添付すること。分量はA4判1～2枚程度とする。
□研究室別の所定課題等	別記2に示す、研究室ごとに定める課題等の提出や必要事項の追記をすること。

外国人留学生の場合は、以下の書類を併せて提出すること。

出願書類等	備　　考
□推薦書	出身大学の指導教員が作成したもの（※任意提出）。 本学文学部出身者（研究生を含む。）及び国費外国人留学生は提出不要。
□外国籍であることを証明する書類	パスポート（在留資格の確認できる頁）のコピー又は在留カードのコピー等。
□国費外国人留学生証明書	国費外国人留学生であることの証明（該当者のみ提出）。本学院または本学文学研究院所属の国費留学生は、提出不要。

5. 出願期間及び提出先等

本学院への出願は、(1)インターネット出願サイト(https://e-apply.jp/e/hokudai-let/)への登録、(2)検定料の納入、(3)出願書類の提出、これら**(1)から(3)すべてが所定の期間内に行われたことをもって完了とする。所定の期間内に全てが完了しない場合は、出願が認められない**ので、充分注意すること。

≪インターネット出願登録及び検定料納入期間≫
【前期試験】2026年7月15日(水)10時00分から7月29日(水)午後5時まで 〈日本時間〉
【後期試験】2026年12月14日(月)10時00分から12月25日(金)午後5時まで 〈日本時間〉

≪検定料≫
30,000円　※検定料に加え決済手数料500円が必要となる。

≪出願書類の提出期間≫
【前期試験】2026年7月31日(金)から8月7日(金)〈日本時間〉
【後期試験】2027年1月4日(月)から1月8日(金)〈日本時間〉
持参の場合:受付時間は午前9時から午後5時まで。
郵送の場合:上記期間内に必着のこと。

≪出願書類提出先≫
北海道大学文学事務部 教務担当(〒060-0810 札幌市北区北10条西7丁目)
出願書類を郵送する場合には、封筒の表に「大学院入学願書在中」と朱書きし、書留郵便とすること。
※提出された出願書類は返却しません。

(1)インターネット出願サイトへの登録
インターネット出願サイト(https://e-apply.jp/e/hokudai-let/)から、「日本語」を選択し、出願ページに進むこと(注:「英語」からは出願登録ができない)。その後、「はじめに」を確認した上で、「募集要項・出願する」から、画面の指示に従い出願登録をすること。

(2)検定料の納入
インターネット出願サイトで必要な登録作業を行った後、同サイトにて検定料を支払うこと。支払い方法は、コンビニエンスストア、郵便局・銀行の ATM、ネットバンキング、クレジットカード、中国銀聯ネット決済の中から選択できる(支払いに際し、決済手数料500円が必要となる)。郵便局・銀行の「窓口」での支払いはできないので注意すること。支払い方法の詳細については、インターネット出願サイトで確認すること。
なお、既納の検定料は、以下の場合を除き返還できない。
①検定料を払い込んだが北海道大学に出願しなかった(出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった)場合
②検定料を誤って二重に払い込んだ場合
(注)出願期間内に願書の提出が完了しない場合、検定料を支払っていても出願は認められないので、検定料の支払いは余裕を持って行うよう注意すること。

【重要】国費外国人留学生は検定料の納付が不要となる。該当の志願者はインターネット出願サイトで出願登録を行う前に文学事務部教務担当(lkyom@let.hokudai.ac.jp)宛にEメールにて、現在の所属、学生番号、氏名を記載の上、連絡すること。Eメールの返信にて出願登録に必要なパスワードを通知する。

(3)出願書類の提出
検定料の支払い完了後、インターネット出願サイトから「入学願書」・「受験票」・「写真表」をダウンロード(PDF)し、それぞれを印刷(両面印刷不可)した上で、出願書類の提出期間内に「4. 出願書類」記載の書類を揃えて出願書類提出先に提出すること。
※検定料の支払いが完了するまでは、入学願書等のダウンロードはできない。

Ⅱ. 入学試験

6. 入学試験期日及び場所

(1)試験期日

【前期試験】 2026年9月28日(月)	専　門　試　験　午前9時00分から午前11時00分まで 口述試験その他　(7. 選抜方法(2)参照)
【後期試験】 2027年1月30日(土)	専　門　試　験　午前9時00分から午前11時00分まで 口述試験その他　(7. 選抜方法(2)参照)

(2)場　　所【前期試験 (2026年9月)及び後期試験(2027年1月)】
北海道大学大学院文学院(札幌市北区北10条西7丁目)
※試験当日の集合時刻及び集合場所については受験票送付時に通知する。

7. 選抜方法

(1)専門試験、口述試験その他の結果並びに出願書類を総合して合格者を決定する。

(2)出題形式等
専門試験と口述試験その他の出題形式・選択方法

人文学専攻

研究室	専　門　試　験		口述試験その他
	試験科目	出　題　範　囲	
哲学倫理学	哲学倫理学	哲学、倫理学 論述形式問題:哲学、倫理学から各々1問ずつ計2問が出題される。このうちから1問を選択する。 事項説明問題:10問から5問を選択する。 外国語文献読解:英語、ドイツ語、フランス語から、研究に必要な外国語を1つ選択する。	口述試験　13:30～
宗教学インド哲学	宗教学インド哲学	宗教学、インド哲学及び仏教学 論述形式問題:宗教学、インド哲学、仏教学から各々1問ずつ計3問が出題される。このうちから1問を選択する。宗教学分野に関しては、英文読解が含まれる場合がある。 事項説明問題:12問から4問を選択する。	口述試験　13:30～ 口述試験のなかで、専門に関わる、外国語(主に英語)の文章を読み質問に答えることを求める場合がある(辞書持込み不可)。
日本史学	日本史学	日本史学	口述試験　13:30～
東洋史学	東洋史学	東洋史学	口述試験　13:30～ 口述試験では、専門に関わる文献を読み質問に答えることを求める場合がある。
西洋史学	西洋史学	西洋史学	外国語　　11:30～12:30 口述試験　13:30～ 外国語は英語、ドイツ語、フランス語のうちから研究に必要な言語を1つ選択する。辞書持込み可(電子辞書は不可)。
考古学	考古学	考古学	口述試験　13:30～
文化人類学	文化人類学	文化人類学	口述試験　13:30～
芸術学	芸術学	芸術理論、芸術史 論述形式問題:芸術理論、芸術史から1問ずつ計2問が出題される。このうちから1問を選択する。 事項説明問題:10問から5問を選択する。 外国語文献読解(英語)	口述試験　13:30～

博物館学	博物館学	博物館研究、動物に関する歴史・文化研究 論述形式問題：博物館研究（動物園・水族館を含む。）、動物に関する歴史・文化研究から計2問が出題される。志望する分野に応じて1問を選択する。 事項説明問題：10問から5問を選択する。	口述試験　13:30～
欧米文学	欧米文学	英米・英語圏文学、フランス文学、ロシア・スラブ文学、西洋古典学 →上の中から志望する分野に応じて1つを選択する。	口述試験　13:30～
日本古典文化論	日本古典文化論	国語・国文学 国語史・国文学史、古典（漢文を含む。）読解	口述試験　13:30～
中国文化論	中国文化論	中国思想（漢文・中国語文・日本漢学を含む。）、中国文学及び中国語学（中国語文献読解等を含む。） →「中国思想」、「中国文学及び中国語学」のうちから1つを選択する。	口述試験　13:30～ 口述試験のなかで、専門に関わる用語や文献の説明を求める場合がある
映像・現代文化論	映像・現代文化論	映像・表象文化、日本近現代文学・思想 →上の中から、主に志望する分野に応じて選択する。	口述試験　13:30～
言語科学	言語科学	言語学、国語学、日本語学、英語学、フランス語学・ロマンス語学、ロシア語学・スラブ語学 →上の中から志望する分野に応じて1つを選択する。	口述試験　13:30～
スラブ・ユーラシア学	スラブ・ユーラシア学	スラブ・ユーラシア社会論、スラブ・ユーラシア文化論 論述形式で、複数の問題から2問を選択する。	外国語　13:30～14:45 口述試験　15:15～ 外国語は英語2題、ロシア語2題のうちから任意の2題を選択し、日本語訳を行う。辞書持込み可（電子辞書は不可）。
アイヌ・先住民学	アイヌ・先住民学	アイヌ・先住民学 アイヌ・先住民に関する文化人類学、言語学、考古学、歴史学、博物館学、文化遺産学 論述形式で、複数の問題から1問を選択する。	口述試験　13:30～

人間科学専攻

研究室	専門試験		口述試験その他
	試験科目	出題範囲	
心理学	心理学	心理学（英語での解答を求めることがある）	口述試験　13:30～
行動科学	行動科学	行動科学	英語文献読解等　11:30～12:30 口述試験　13:30～
社会学	社会学	社会学（英語での解答を求めることがある）	口述試験　13:30～ （英語での質疑応答を含むことがある）
地域科学	地域科学	人文地理学、社会生態学、地域社会学 →「人文地理学」、「社会生態学」、「地域社会学」の問題のうちから、一定数を選択する。	口述試験　13:30～

8. 合格者発表

【前期試験】 2026年10月9日（金） 午後4時

【後期試験】 2027年2月18日（木） 午後4時

合格者受験番号について文学院公用掲示板への掲示及び文学院ウェブサイトへの掲載を行うとともに、受験者宛、合否を郵送（海外在住者についてはメール）により通知する。電話による問い合わせには一切応じない。

なお、通知の到着は、5～6日後（宛先が日本国内の場合）になることがある。

・各研究室における専門分野

人文学専攻

講　座	研 究 室	教　員	専門分野
哲学宗教学	哲学倫理学	教授　奥野 満里子 教授　佐野 勝彦 教授　田口 茂 教授　村松 正隆 准教授　宮園 健吾 助教　野村 恭史	哲学・哲学史、倫理学・応用倫理学、応用哲学、論理学、社会思想史
	宗教学インド哲学	教授　林寺 正俊 教授　宮嶋 俊一 准教授　眞鍋 智裕 講師　佐﨑 愛	宗教学、インド哲学、仏教学
歴史学	日本史学	教授　川口 暁弘 教授　権 錫永 教授　谷本 晃久 教授　橋本 雄 准教授　吉田 拓矢	日本史学
	東洋史学	教授　佐藤 健太郎 教授　吉開 将人 准教授　小林 晃 講師　末森 晴賀	東洋史学
	西洋史学	教授　長谷川 貴彦 教授　松嶌 明男 教授　村田 勝幸 准教授　飯坂 晃治 准教授　安酸 香織	西洋史学
	考古学	教授　江田 真毅 教授　高瀬 克範 准教授　國木田 大 准教授　中澤 祐一 准教授　夏木 大吾	考古学、物質文化論、植物考古学、動物考古学、実験考古学、文化財科学
文化多様性論	文化人類学	教授　小田 博志 教授　山口 未花子 准教授　コーカー・ケイトリン・クリスティーン 助教　田中 佑実	文化人類学
	芸術学	教授　浅沼 敬子 教授　今村 信隆 教授　谷古宇 尚	美学・芸術学、西洋美術史、現代美術史
	博物館学	准教授　小山 亮 准教授　久井 貴世 講師　卓 彦伶	博物館学、動物に関する歴史・文化

人文学専攻

講　座	研 究 室	教　員	専門分野
表現文化論	欧米文学	教授　小椋 彩 教授　竹内 修一 教授　竹内 康浩 教授　戸田 聡 特任助教　宮下 弥生	英米・英語圏文学、フランス文学、ロシア・スラブ文学、西洋古典文学
	日本古典文化論	准教授　小林 理正 准教授　関谷 由一 准教授　野本 東生 准教授　南 陽子	日本古典文学、日本古典文化
	中国文化論	教授　近藤 浩之 教授　田村 容子 准教授　熊 征 准教授　吉田 勉	中国思想、中国語学、中国文学
	映像・現代文化論	教授　応 雄 教授　押野 武志 教授　水溜 真由美 准教授　川崎 公平	映像論、表象文化論、日本文学（近代・現代）、日本文化（近代・現代）、日本思想（近代・現代）
言語科学	言語科学	教授　李 連珠 教授　伊藤 孝行 教授　加藤 重広 教授　蔦 清行 教授　野村 益寛 教授　藤田 健 准教授　加藤 祥 准教授　菅井 健太	言語学、国語学、日本語学、英語学、フランス語学・ロマンス語学、ロシア語学・スラブ語学
スラブ・ユーラシア学	スラブ・ユーラシア学	教授　青島 陽子 特任教授　岩下 明裕 教授　宇山 智彦 教授　仙石 学 教授　長縄 宣博 教授　野町 素己 教授　服部 倫卓 准教授　安達 大輔 講師　李 優大	ロシアの社会と文化、中央ユーラシアの社会と文化、東欧の社会と文化
アイヌ・先住民学	アイヌ・先住民学	教授　加藤 博文 教授　北原 モコットゥナシ 教授　山崎 幸治 准教授　落合 研一 准教授　丹菊 逸治 准教授　平澤 悠 准教授　蓑島 栄紀	アイヌ・先住民に関する文化人類学、言語学、考古学、歴史学、博物館学、文化遺産学

人間科学専攻

講　座	研 究 室	教　員	専門分野
心理学	心理学	教授　小川 健二 教授　河原 純一郎 准教授　金子 沙永 准教授　田辺 弘子 助教　森本 琢	認知心理学、認知科学、実験心理学、音楽心理学、視覚科学、認知神経科学、応用心理学、運動心理学
行動科学	行動科学	教授　大沼 進 教授　高橋 泰城 教授　髙橋 伸幸 教授　竹澤 正哲 教授　結城 雅樹 准教授　瀧本 彩加 助教　中島 晃	行動科学（社会心理学、文化心理学、環境心理学、進化心理学、行動経済学、比較認知科学など）
社会学	社会学	特任教授　平澤 和司 准教授　伍 嘉誠 助教　中村 聖	社会学
		教授　樋口 麻里 講師　平松 誠	共生社会論（都市・地域社会学、医療福祉社会学・DEI研究、ジェンダー・セクシュアリティ論）
地域科学	地域科学	教授　橋本 雄一 准教授　上野 真由美 准教授　髙橋 昂輝 准教授　寺林 暁良 助教　寺田 千里	人文地理学、地域社会学、社会生態学

（順不同）

※本表は、2027年4月1日に文学院に在籍する予定の教員の一覧であり、記載内容は変更となる場合があります。

・出願上の注意

（1）出願書類及びその記載内容に虚偽のあることが判明した場合は、合格（入学後にあっては入学）を取り消す。

（2）入学願書の履歴事項欄には、高等学校卒業以降の履歴を全て記入すること。外国人留学生は、初等教育（小学校）から最終学歴まで全ての入学、卒業に関する情報を記入すること。履歴中に虚偽のあることが判明した場合は、合格（入学後にあっては入学）を取り消す。

（3）病気・負傷や障害等により、受験及び修学に際して特別な配慮を必要とする者は、所定の期日までに文学事務部教務担当に申し出ること。

〈所定の期日〉前期試験（9月）受験者：2026 年6月 12 日（金）、後期試験（1月）受験者：2026 年 11 月6日（金）

・過去の試験問題

本学院ウェブサイトで公開している。

北海道大学大学院文学院　https://www.let.hokudai.ac.jp/

なお、翌年度5月に合否判定基準及び入学試験の出題意図、並びに志願者数、受験者数、合格者数及び入学者数等の情報を公開する。

・受験票の発送

受験票は、前期試験は8月下旬、後期試験は1月下旬に発送する。

・入学手続

（1）入学手続期間　3月上旬（入学手続の詳細は、2月下旬に通知する。）

（2）入学料　282,000円

（3）授業料　前期分267,900円（年額535,800円）

（注1）上記の納付金は予定額であり、今後改定される場合がある。

（注2）在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用される。

・外国籍の出願者への留意事項

（1）ビザ/在留資格について

本学で外国人留学生として在籍するには、在留資格「留学」を取得する必要がある。在留資格「留学」の申請に必要な「在留資格認定証明書」は、申請から発行までに3か月以上かかる場合があるため留意すること。なお、在留資格取得にかかる手続きについては、以下の本学 Web サイトを参照すること。

日本語版：https://intl-student-handbook.oia.hokudai.ac.jp/preparation/visa

英 語 版：https://intl-student-handbook.oia.hokudai.ac.jp/en/preparation-en/visa-en

（2）安全保障輸出管理について

本学では「外国為替及び外国貿易法」に基づき「北海道大学安全保障輸出管理規程」を定めて貨物の輸出、技術の提供（人の受入を含む）について厳格な審査を実施している。規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない又は研究が実施できない等の制限がかかる場合がある。安全保障輸出管理にかかる具体的な規制事項等の詳細については、以下の経済産業省のウェブサイトを参照のこと。

《経済産業省ウェブサイト》https://www.meti.go.jp/policy/anpo/

・長期履修制度について

この制度は、主として時間的制約の多い社会人の修学に配慮したもので、標準の修業年限より長い期間をかけて計画的な履修を行うためのものである。

これに申請できるのは、官公庁・企業等に在職している者（給与の支給を受け、職務を免除されている者を除く。）、自ら事業を行っている者等フルタイムの有職者、育児及び親族の介護等にたずさわっている者、又はそれらに準じる仕事や負担によって修学に重大な影響がある者に限定される。

希望者は 2027 年1月4日（月）から 2027 年1月8日（金）に申請を行い、本学院における審査を経て、2月下旬に適用が決定される。入学時に長期履修が認められた者の授業料は、概ね標準修業年限に納付すべき授業料の額（年額×2年）を長期履修が認められた年数で除した額を年額として決定する。

なお、申請書類には、長期履修を希望する理由が確認できる書類等を添付する必要があるので、申請者は、以下 URL 及び QR コードより申請書類を確認の上、必要書類を申請時までに揃えておくこと。

以下 URL 及び右の QR コードから申請書類を事前に取得し準備すること
https://drive.google.com/drive/folders/1LBHiCI-A9P6hhq47jHWFnygs_mf6hgPi?usp=sharing

・教育方法の特例（大学院設置基準第 14 条による特例）について

本学院では、通常、平日１講時～5講時（8:45～18:00）に授業を行うこととなっているが、有職者である学生に限り、その所属先における勤務条件、通学に要する時間等について、教員が考慮した上で、通常の授業時間帯以外の特定の時間又は時期に授業を設けることが許されている。この特例による授業の実施を希望する者は、合格発表後、指導を希望する教員に申し出るとともに、今後の研究・学習計画等について指導をうけること。

・個人情報の取り扱いについて

（1）本学が保有する個人情報は、「個人情報の保護に関する法律等」を遵守するとともに、「国立大学法人北海道大学個人情報管理規程」に基づき、保護に万全を期している。

（2）出願書類に記載されている氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜、②合格者発表、③入学手続、④入学者選抜方法等における調査・研究、及び⑤これらに付随する業務を行うために利用する。

（3）各種業務での利用に当たっては、一部の業務を本学から当該業務の委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）において行うことがある。業務委託に当たり、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、個人情報の全部又は一部が提供される。

（4）合格者のみ、（2）の個人情報を入学後の①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、奨学金申請等）、③就職支援関係、④授業料等に関する業務を行うために利用する。

（5）（4）の個人情報のうち、氏名及び住所に限って、北大フロンティア基金及び本学関連団体である北海道大学体育会からの連絡を行うために利用する場合がある。

（6） EU 一般データ保護規則(GDPR)に基づく個人情報の取扱いについては、対象者に別途お知らせする。当該規則の適用となる者（欧州経済領域（EEA）加盟国内から出願する者）は出願前に文学事務部教務担当に申し出ること。

・入学試験に関する問い合わせ先

北海道大学文学事務部教務担当

℡（011）706-3005、3004（月～金：8:30～17:00／祝日及び 12/28～1/3 を除く。）

Email: lkyom@let.hokudai.ac.jp

※問い合わせは、やむを得ない場合を除き志願者本人が行うこと。

※上述の期間以外でも臨時に閉室することがあるため、早めに問い合わせをすること。

・入学試験成績等の開示について

本学院では、本人からの請求に基づき、合格発表後の一定期間、受験者からの求めに応じ試験成績等について開示する。

開示内容・方法等については、受験票及び受験上の注意事項等送付時に通知する。

・その他

試験実施に関する変更や追加の連絡事項等がある場合は本学院ウェブサイトに掲載するため、出願前に確認すること。

海外在住の外国籍の方で、日本に入国して試験を受ける方は、必要に応じて各自ビザの取得手続きをすること。本学院では、受験のためのビザ申請手続きはしていない。

遠方からの受験者は、風雪害や台風等による交通機関の遅れ等を考慮し、日程に十分ゆとりをもたせるほか、衣服（室内外での温度差等）・履物（降雪・路面凍結等への対応）に注意すること。風雪害、交通障害等を考慮して、余裕をもって到着できるよう準備することが望ましい。

別記1　出願資格審査

「2. 出願資格」の(9)…いわゆる飛び入学…により出願しようとする場合。

(1)提出書類

①受験資格審査願(本学院所定の用紙、申し出により交付する。)
②入学願書
③成績証明書
※転学している場合は、転学前の成績証明書も併せて提出する。
④出身大学の学部長及び指導教員の推薦書。本学文学部学生は、指導教員の推薦書
※中途退学者も出身大学から推薦書を発行してもらうこと。
⑤主要研究論文
※卒業論文等を作成していない場合でも、新規に作成し提出すること。
⑥返信用封筒(出願資格通知用)
※封筒(長形3号)に申請者の郵便番号・住所・氏名を明記し、410円分の切手を貼付したもの。

(2)提出期限

2026年11月6日(金)

(3)審査基準

下記のア、イの両方の条件を満たす者に、出願資格を与える。

ア　授業科目の成績

在籍大学の成績評価(転学をしている者は転学前の成績を含む。)を下記の式により計算し、その値が2.90を超える者

$$\text{評価の平均値} = \frac{\text{優(A)の単位数}\times 3 + \text{良(B)の単位数}\times 2 + \text{可(C)の単位数}\times 1}{\text{総修得単位数}}$$

注1　2年次修了時点で82単位以上修得していることを条件とする。
注2　評価が「認定」となっているものは、修得単位として計上しない。

イ　主要研究論文の評価

志望する研究室を担当する本学院専任教員が、本学文学部4年次学生が提出する卒業論文に準じて評価し、「優」の評価に相当するもの。

「2. 出願資格」の(10)…大学卒業資格を有していない者に対する個別の資格審査…により出願しようとする場合。

(1)提出書類

①受験資格審査願(本学院所定の用紙、申し出により交付する。)
②入学願書
③最終学校の卒業証明書、成績証明書
④最終学校卒業後の学習歴、実務経験等について、A4判を用い2,000字以内で述べたもの。
⑤最終学校卒業後の学習歴、実務経験等を証明できるもの。
(例:教育機関の在学証明書、成績証明書。研究機関の在職証明書又はこれに代わるもの。出版物、講演会発表要旨等)
⑥返信用封筒(出願資格通知用)
※封筒(長形3号)に申請者の郵便番号・住所・氏名を明記し、410円分の切手を貼付したもの。

(2)提出期限

【前期試験】 2026年6月12日(金)まで
【後期試験】 2026年11月6日(金)まで

(3)審査基準

次のア、イの両方の条件を満たす者に、出願資格を与える。

ア　客観的に証明できる学習歴、実務経験等を有し、それらの年数と本人の受けた学校教育の年数を合算し、16年以上となること。

イ　学習歴、実務経験等において、志願する研究室の学習・研究内容と関連のある実績があること。

別記2　出願書類【研究室別の所定課題等】、その他受験者への連絡事項

人文学専攻

研　究　室	提　出　物　等 （提出書類は、出願書類と併せて出願期間に提出すること。）	その他受験者への連絡事項 ※出願時の留意事項、受験者が試験期日に用意するもの　等
哲学倫理学	卒業論文。あるいは、卒業論文に代わる研究論文（4,000 字以上、書式自由）または卒業論文の計画書（4,000 字以上、書式自由）を提出すること。	口述試験受験時には、左記の提出物を持参すること。
宗教学インド哲学	修学したい分野に関わる卒業論文、それがない場合は、修学したい分野に関わる 4,000 字程度のレポート（書式自由）を提出すること。	なし
日本史学	なし	なし
東洋史学	なし	なし
西洋史学	なし	なし
考古学	なし	なし
文化人類学	卒業論文を提出する場合でも、それに加えて文化人類学に関わる 2,000 字程度のレポートを作成し提出すること。	なし
芸術学	芸術学に関する卒業論文。卒業論文がない場合は、芸術学に関するテーマについて論じた 4,000 字程度のレポートを提出すること。	なし
博物館学	研究したい分野に関わる卒業論文、ない場合はその分野に関わる 4,000 字以上のレポートを提出すること。	なし
欧米文学	検定試験などによる外国語(志願者の母語でない言語)の能力を証明するもの(日本語検定、英検、TOEIC や TOEFL、仏検、ロシア語検定など)があれば提出してもよい。	なし
日本古典文化論	なし	なし
中国文化論	なし	卒業論文がない場合は、研究計画書に自身の研究したいことについて詳細な説明を行うこと。
映像・現代文化論	以下のものがあれば必ず提出すること。 （一般）外国語の外部試験の成績証明書 （外国人留学生）日本語の外部試験の成績証明書	なし
言語科学	なし	(1)口述試験において、言語学、国語学、日本語学、英語学、フランス語学・ロマンス語学、ロシア語学・スラブ語学の中でどの分野を選択するか、(2)入学後、どの教員を指導教員として希望するか、の2点を研究計画書の末尾に明記すること。
スラブ・ユーラシア学	なし	・出願書類として卒業論文又はそれに代わる研究論文を提出しない者は、研究計画書に参考文献を示しながら研究内容の詳細がわかるように書くこと。
アイヌ・先住民学	なし	研究計画書の末尾に「参考文献リスト」（研究計画書の字数に含めない）を付すこと。

人間科学専攻

研　究　室	提　出　物	その他受験者への連絡事項 ※出願時の留意事項、受験者が試験期日に用意するもの　等
心理学	1.＜必須＞下記いずれかの英語試験の成績証明書（写し可） ・TOEIC Listening & Reading Test　・TOEFL iBT（Home Edition を含む）　・IELTS（アカデミック・モジュール） 詳細は文学院ウェブページの入試情報に掲載の資料を必ず参照すること。 2.＜希望者のみ＞心理学の専門知識を有することを証明したいものは日本心理学書学会連合認定心理学検定1級または特1級の合格証の写しを提出し、「口述試験その他」の時に合格証原本を提示すること。	出身大学（院）において英語による教育を受けた者は、出願前に本学文学事務部教務担当へ問い合わせること。
行動科学	卒業論文またはそれに代わる研究論文がない場合は、行動科学分野における特定のトピックを選び、最新の研究成果について論じた 4,000 字程度のレポートを提出すること。	「口述試験その他」の受験時は、提出した研究計画書の説明に必要な資料を用意すること。
社会学	なし	なし
地域科学	地域科学分野に関する成果物があれば提出すること。	「口述試験その他」の受験時は、提出した研究計画書の説明に必要な資料を用意すること。

北海道大学大学院文学院

〒060-0810　札幌市北区北 10 条西7丁目
011-706-3005、3004(教務担当)

https://www.let.hokudai.ac.jp/